

分野 専門分野			
科目名	家族看護論	単位	1単位
		時間	15時間
開講時期	1年次後期		
講師名	石丸千晶	実務経験	専任教員／医療機関において看護師として勤務
授業概要	様々な健康レベルの家族のヘルスニーズや、家族の健康問題によって発生する家族問題を理解し、家族の保健機能や介護機能を高めるための看護を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な健康レベルの家族の健康問題によって発生する家族問題と援助の必要性を理解する。 2. 家族を単位としたアセスメントの方法を理解する。 3. 家族に対する看護を理解する。 		
DPとの関連	関連が深いもの◎、関連するもの○		
◎	1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。		
○	2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。		
○	3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。		
○	4. 保健・医療・福祉システム及び多職種の役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。		
○	5. 看護への探求心をもち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。		
授業の流れ【全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
家族看護論【15時間】			
1	家族看護とは	講義	
2	家族看護の対象の理解	講義	
3	家族機能、現代の家族とその課題	講義	
4	家族看護を支える理論と介入法	講義	
5	家族看護過程	講義	
6	家族アセスメントモデル	講義・ポストテスト	
7	事例に基づく家族看護学の実践	講義・演習	
8	事例に基づく家族看護学の実践	講義・演習	
	終了試験		
受講上の注意			
評価方法 筆記試験(70点)、ポストテスト(20点)、課題レポート(10点)			
使用するテキスト 医学書院 系統看護学講座 別巻 家族看護学			
参考文献			